

平成 30 年 6 月 吉日

県内における TO 方法の一本化について

埼玉県ミニバスケットボール連盟
TO 委員長 星野 延之

日頃より TO スキルの向上についてご理解、ご実践を頂き、ありがとうございます。
今期、TO 委員会では県内での TO 実施方法について地区間の違いをなくし一本化する取り組みを始めました。つきましては、以下の 3 点についてチーム内へ周知、ご指導をお願いします

- ① ジャンプボールシチュエーション時のアローの取り扱いについて
- ② ハーフタイム時のチームファール表示について
- ③ TO 席に掲示するチーム名について

1. ジャンプボールシチュエーション時のアローの取り扱いについて

ジャンプボールシチュエーションになった場合、スコアラーまたはアシスタントスコアラーはアローに手を掛ける、または持ち上げて、認識していることを明示してください。

【理由】

アローに手を掛けるまたは持ち上げるにより「ジャンプボールシチュエーションを認識している」事を明確に審判、チーム、会場に示し、操作の誤りをなくします。
その際、必要に応じて審判員の方向へ向ける等、見やすい操作をお願いします。

2. ハーフタイム時のチームファール表示について

ハーフタイム時、スコアチェックを待たずにチームファールの表示を下すものとします。

【理由】

スコアシートのチェックは TO および両チームのスコアシートを突き合わせて行いますが、不一致があった場合は 2 シートの一致、また、3 つのシートが一致しない場合はスコアラーのシートに合わせることでなっています。また、現行ルールにおいてはハーフタイム時のチームファールは 2Q のものだけであり、前半をチェックするには不十分な情報となります。

ハーフタイムになったら速やかにチームファールの表示を下し、速やかに 3Q の準備を行ってください。

3. TO 席に掲示するチーム名について

TO 席に掲示するチーム名は得点を表示するものとします。

【理由】

チーム名と得点一致している方が直感的であり、また、対面に得点板が設置されている場合、整合性が保たれるためです。

以上